

## 第2回起草部会からの変更点

第2回起草部会での議論等を踏まえた主な変更点は以下のとおり。

ページ	項目	変更点
p. 2～3	3. 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「海外からの観光客の増加に伴う多言語対応」を現在生じている課題に移動。</li> <li>・「冬期利用の拡大に伴う野生動物への影響」を「観光利用の時期やエリアの拡大に伴う野生生物への影響」に修正。</li> <li>・「観光客とヒグマとのトラブルの増加」を今後予想される課題に追加。</li> </ul>
P. 3～5	5. 基本方針 (2) エコツアーを含む観光利用の推進にあたって必要な視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1項目目「地域主体・自律的であること」に「・持続的」を追加、地域社会と経済への貢献の必要性について記載。</li> <li>・「〇共有・協働・連携・ネットワーク」という項目を追加、関係団体やボランティア等との連携の確保等について記載。</li> <li>・自然環境を保全することという項目に「…や法的な規制の実施を地域の合意のもとに行う」という表現を追加。</li> <li>・自己責任の原則と管理責任の分担という項目に事故防止のための事前の備えの必要性等を追記。</li> </ul>
p. 5～7	7. 守るべき知床の価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に関する価値、文化に関する価値、人と自然の関わりについての価値という項目立てを「自然に関する価値」「人と自然の関わりについての価値」「秘境感に根ざす非日常性から得られる価値」という項目に修正、各項目を簡潔に概説し、代表的なものを具体的に記載した。</li> </ul>
p. 7	8. 将来目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「提供可能なエコツアーの種類、数を充実させる」を「知床特有の環境を活用したエコツアーの種類、数を充実させる」に修正。</li> <li>・「地域主導のエコツアーを増加させるとともに、人材やサービス等の地域内からの調達を増加させ、地域消費率</li> </ul>

<p>p. 7～8</p>	<p>9. 具体的方策  (1) 利用コントロール  (2) 守るべきルールの設定と指導  (3) 情報の発信</p>	<p>を向上させる。」を「地域主導のエコツアーを増加させるとともに、サービスの地域内からの調達を増加させ、地域消費率を向上させる。」に修正。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用コントロールを実施した場合、観光客からの情報の還元が容易になる。」を追加。</li> <li>・「脆弱な自然環境を利用する登山や野生動物の観察等に関しては、専門的な知見に基づくルールを設定する必要がある。」を「脆弱な自然環境の利用に関しては、専門的な知見に基づくルールを地域合意のもとに設定する必要がある。」に修正。</li> <li>・ルールへの遵守が良質な自然体験に繋がる点を追記。</li> <li>・ブランド価値の向上に留意した情報発信や多言語化に留意した情報発信の必要性を追記。</li> </ul>
<p>P. 9</p>	<p>10. 戦略の実行体制  (1) エコツーリズムを含む観光利用に関する政策決定手順</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なお、検討会議での提案にあたっては、斜里町、羅臼町の役場において、提案内容の妥当性や必要な手続き等について、事前に相談することができる。」を追記。</li> </ul>